

高校世界史プリント（過去問類似）  
中世（諸地域の交流） No.4

名前

得点

/10

問1 中世イタリアのフィレンツェにおいて、教皇派（ゲルフ）と皇帝派（ギベリン）の対立、および教皇派内部の分裂抗争に巻き込まれて市政から追放され、その亡命生活の中で叙事詩『神曲』を執筆したトスカーナ地方出身の詩人は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. マキャヴェリ                      2. ペトラルカ                      3. ダンテ                      4. ボッカチオ

問2 五代十国時代の混乱を收拾して新たな王朝を建国し、節度使などの武臣の権力を抑えて文人官僚を重用する政治体制の基礎を築いた、宋（北宋）の初代皇帝は誰か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 趙匡胤                      2. 司馬炎                      3. 李世民                      4. 朱元璋

問3 9世紀にアンコール朝を建国し、12世紀前半には壮大なヒンドゥー教・仏教寺院を建設するなど、カンボジア地方で独自の文化を栄えさせた民族は何か。（2007年 全国公立入試 類似）

1. ビルマ人                      2. クメール人                      3. マレー人                      4. チャム人

問4 11世紀から13世紀にかけての中世西ヨーロッパでは、封建貴族の宮廷を中心に世俗的な文化が栄えた。この時期、南フランスのトルバドゥールやドイツのミンネゼンガーに代表され、騎士の武勇や宮廷風の恋愛をテーマにした叙情詩を歌いながら各地を巡回した、詩人や音楽家を総称して何と呼ぶか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 写本画家                      2. 吟遊詩人                      3. 放浪学生                      4. 宮廷詩人

問5 13世紀後半のモンゴル帝国（元）の時代に陸路で大都（北京）に達し、フビライ・ハンに仕えたのち、海路で帰国したヴェネツィア出身の商人がいる。彼がジェノヴァの獄中で口述した旅行記には、長江デルタに位置し大運河による交易で繁栄していた蘇州の経済的活況などが生き生きと描かれ、当時のヨーロッパ人の東洋への関心を大いに高めることとなった。この旅行記の口述者である人物は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ラッパーン・サウマ                      2. プラノ・カルピニ                      3. マルコ・ポーロ                      4. モンテ・コルヴィノ

問6 13世紀初頭、南フランスで勢力を広げていたキリスト教の異端カタリ派を討伐するために、当時のローマ教皇の提唱によって組織され、結果としてフランス王権が南仏へ領土を拡大する契機となった軍事行動は何か。（2017年 全国公立入試 類似）

1. リヴォニア十字軍                      2. ニコポリス十字軍                      3. プロイセン十字軍                      4. アルビジョワ十字軍

問7 13世紀初頭、ヴェネツィアの商人たちの主導により、本来の目的地であった聖地ではなく、キリスト教国であるビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを占領し、ラテン帝国を建国するに至った遠征の名称として正しいものを答えよ。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 第1回十字軍                      2. 第3回十字軍                      3. 第2回十字軍                      4. 第4回十字軍

問8 季節風（モンスン）を利用したインド洋交易において、イスラーム教徒の商人らによって広く用いられ、東アフリカからインド、東南アジアに至る海上交易ネットワークの形成に大きく貢献した、三角帆を特徴とする木造の快速船を何というか。（2018年 全国公立入試 類似）

1. ガレー船                      2. ダウ船                      3. ジャンク船                      4. コグ船

問9 ムハンマドが生まれた都市であり、古くからカーバ神殿を擁する商業都市として繁栄し、のちにこの宗教の最大の聖地となったアラビア半島の都市はどこか。（2006年 全国公立入試 類似）

1. メッカ                      2. ジッダ                      3. カイロ                      4. メディナ

問10 11世紀にサハラ西部のベルベル人が建国し、モロッコからイベリア半島南部にかけての地域を支配した、イスラーム教スンナ派の王朝は何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. マリーン朝                      2. ナスル朝                      3. ムワッヒド朝                      4. ムラービト朝

## 答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 ダンテ	中世イタリアのフィレンツェでは、教皇派（ゲルフ）と皇帝派（ギベリン）の抗争が激しく行われていた。教皇派が勝利したのち、教皇派はさらに白党と黒党に分裂して対立した。白党に属して市政で活躍していたダンテは、黒党が政権を握ったことでフィレンツェを追放され、亡命生活を送る中でトスカーナ語による大叙事詩『神曲』を著した。
問2	答え 1 趙匡胤	五代の武臣政治（節度使の割拠）を反省し、軍人の力を抑えて文人官僚を重用する文治政治を推進した。この方針を確立したのが、宋（北宋）の建国者である太祖（趙匡胤）である。彼は科挙に皇帝自らが面接を行う「殿試」を導入し、皇帝直属の官僚機構を整備して中央集権化を図った。
問3	答え 2 クメール人	クメール人は、9世紀にアンコール朝を建国し、メコン川下流域からカンボジアにかけての地域を支配した。12世紀前半にはアンコール=ワットなどの巨大な寺院を建設し、全盛期を迎えた。
問4	答え 2 吟遊詩人	11世紀以降、西ヨーロッパの封建社会が安定すると、城館や宮廷を中心に世俗的な宮廷文化が発達した。南フランスのトルバドール（叙情詩人）やドイツのミンネゼンガー（愛の詩人）などは、騎士の冒険や宮廷風の恋愛をテーマにした叙情詩を歌い、各地の宮廷を巡回した。彼らは総称して吟遊詩人と呼ばれる。
問5	答え 3 マルコ・ポーロ	モンゴル帝国の成立によってユーラシア規模での東西交通路が安全に確保された結果、多くの往来者が現れた。ヴェネツィア出身の商人であるマルコ・ポーロは、元代の中国を訪れてフビライ・ハーンに仕え、帰国後にジェノヴァとの戦争で捕虜となった際、獄中でルスティケロに自身の体験を口述した。これが『世界の記述（東方見聞録）』としてまとめられ、蘇州をはじめとする中国の都市の繁栄ぶりがヨーロッパに紹介された。
問6	答え 4 アルビジョワ十字軍	南フランスで普及したキリスト教の異端カタリ派（アルビジョワ派）を制圧するため、13世紀初頭に教皇インノケンティウス3世の提唱で組織された。この軍事行動を通じて、それまで自立的だった南フランスの諸侯領がフランス王権に統合される契機となった。
問7	答え 4 第4回十字軍	ローマ教皇インノケンティウス3世の呼びかけで結成された第4回十字軍は、輸送を請け負ったヴェネツィアの意図に引きずられ、エジプトに向かわずにビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを攻撃・占領した。この結果、ビザンツ帝国は一時亡命政権となり、占領地にはラテン帝国が建てられた。
問8	答え 2 ダウ船	季節風（モンスーン）を利用したインド洋交易では、ムスリム商人が主導的な役割を果たした。彼らが使用した木造船は、風向きに対して柔軟に対応できる三角帆（ラティーンセイル）を備えており、アラビア海やインド洋を迅速に往来することを可能にした。この船の活躍により、香辛料や陶磁器、木材などの交易が活発化し、沿岸地域にイスラム教が伝播する契機ともなった。
問9	答え 1 メッカ	アラビア半島西部のヒジャーズ地方に位置する都市で、古くから多神教の聖堂であるカーバ神殿があり、交易の要地として栄えた。ムハンマドによる布教活動の開始後、一時対立が生じたが、最終的に征服されて最大の聖地となった。
問10	答え 4 ムラービト朝	ムラービト朝は11世紀にベルベル人が北アフリカ（モロッコ）に建てた王朝であり、のちにイベリア半島にも進出してキリスト教勢力（レコンキスタ）と戦った。7世紀に建てられたわけではないため、時期の判定が重要となる。